

兵庫 県
保険 医協
会

西宮支部ニュース 芦屋支部ニュース

No. 271
2009・1・5

発行
〒662-0074

兵庫 県保
険医協
会
西宮市石
別町十八
一八

大森 内
科医
院内
電話 〇
七八
(三九
三) 一
八〇一

医療過誤・訴訟セミナー⑪

大野病院事件無罪判決の意義・背景を詳細に解説

西宮・芦屋支部は12月6日、西宮市勤労会館で、「大野病院事件―無罪判決から」をテーマに医療過誤・訴訟セミナー⑪を開催、医師・スタッフら34人が参加した。

講師の鵜飼万貴子先生(米田泰邦法律事務所)が講師を、半田伸夫先生(半田医院)が司会を務めた。半田先生の感想文を掲載する。



講師の鵜飼万貴子先生

医療過誤・訴訟セミナーに

参加して

西芦支部・医療過誤訴訟セミナー「大野病院事件―無罪判決から」が、師走の6日、西宮勤労会館にて米田泰邦法律事務所(鶴飼万貴子弁護士)をお招きして開催された。

大野病院事件とは04年に前置胎盤妊婦の帝王切開手術の際に大量出血で妊婦が死亡した件について、異状死の届け出義務違反と主治医の業務上過失致死で執刀医が06年に逮捕され、刑事告発(起訴)された事件のことである。

セミナーでは判決文を基に事件の概要、検察側の起訴理由、医療事故調査委員会の報告書、弁護側の主張などを解説。検察側の鑑定医が腫瘍専門の婦人科医で、前置胎盤を含む異常分娩の経験の乏しい医師であったこと。手術という業務での結果予見可能性および義

務、結果回避可能性および義務から、業務上過失致死とどう判定するかについて、相当数の臨床例が存在せず、医師に広く認識されていない状況においては、医療慣行が医学的準拠となることを示し、弁護側の専門医の鑑定に基づき業務の正当性が認められた。また本例のように診療中の患者が疾病により死亡したような場合は異状死とは考えられず、届出の義務はないと判断した。

鵜飼先生はこの事例をもとに医療における刑事裁判、現在の無過失賠償を認めない賠償制度の問題点を逐次解りやすく説明された。質疑応答も多く予定時刻を延長するほどであり、会員の関心の高さがうかがわれるセミナーであった。

半田 伸夫 (半田医院)

但馬支部との交流 in 阿瀬溪谷

地域医療の現状を交流

西宮・芦屋支部は11月9日、豊岡市日高町の阿瀬溪谷で但馬支部との交流企画を開催。但馬支部支部長の新田先生ら両支部から8人が参加した。但馬、西宮・芦屋それぞれの支部活動の特徴や、公立病院問題や医師不足問題など地域医療の現状と課題・取り組み、会員が日常診療で抱えている悩みなどを交流した。

支部では今後とも他支部との交流を企画していく予定である。

第3回胸部X-P読影会

日時 2009年1月30日(金) 午後8時～

会場 西宮渡辺心臓・血管センター 1階待合室

西宮市池田町3-25 JR西宮駅から西へ徒歩10分。

アドバイザー 原 秀樹 先生

(尼崎市・はら内科クリニック)

司会 橋野 盛彦 先生 (西宮市・橋野医院)

共催 グラクソ・スミスクライン(株)

参加費 無料 ※症例の持込をお待ちしております。

レセプト電子送信の検討会#2

日時 2009年1月31日(土) 午後2時～

会場 西宮市勤労会館 第8会議室

阪神西宮駅から東徒歩7分。JR西宮駅から南西徒歩10分。

話題提供 田中 慎一 氏 (フォーメディカル)

司会 広川 恵一 先生 (西宮市・広川内科クリニック)

参加費 無料

お問い合わせは担当事務局・岡林、伊藤、横山まで

Tel : 078-393-1801 Fax : 078-393-1802



囲炉裏を囲んで交流を深めた



英語で診療 Medical English #20

甲状腺疾患の診療を英語で再現

西宮・芦屋支部は12月12日、西宮医療会館で、「甲状腺疾患」をテーマに「英語で診療 Medical English#20」を開催、ロバート・コンロイ先生(Com Language School)が講師を、坂尾福光先生(ビューハイッククリニック)が司会を務め、14人が参加した。アドバイザーを務めた西山哲彦先生(西山医院)の感想文を掲載する。

英語で診療に参加して

12月12日に西宮医療会館で行われた「英語で診療 Medical English #20・甲状腺疾患」に参加した。師走の忙しい中にもかかわらず15人程が出席されていた。師走とは聞かれコンロイ先生は「Teacher is busy?」と自信なげに仰った。師走とは坊さんが忙しく走り回る様からきている説が一番らしいがコンロイ先生に分かる訳もない。半年ほど前に甲状腺に関してスキットを準備してくれたとの依頼があった。英語音痴の私には無理と言ったのですが日本語で結



コンロイ先生(左)と坂尾先生(右)



講師のマンツーマンの指導で発音を磨く

構とのことで引き受けた。2年ほど前に当協会主催の研究会で神戸で甲状腺疾患をテーマに話した内容を下地に実際の診察室の一風景として作ってみた。それで、天気の話や着ているシャツを誉めたり、みのもんだのテレビを見て来たのかなどの会話と私が見事に毎日している診療を手順通りに再現させてスキットの原稿を作成した。ついで欲張りすぎて、いささか長くなりすぎて申し訳なかった。坂尾先生のご苦勞で上手に英語に翻訳された。当日は恐る恐る出席したが、案の定、参加者が少ないため、発声機会が3回も回って来て、冷や汗をかきながら済みます。出ている人は皆さん自信があるから出ておられるので、非常に流暢である。

西山 哲彦 (西山医院)

英会話が主なのか、医学知識が大事なのか、二兎を追うと一兎も得ずとなりかねないので難しいと痛感した。

第20回在宅医療研究会

日時 2009年2月7日(土)
午後3時~5時半

会場 西宮神社会館 福・寿の間

テーマ 在宅ターミナルケア

- ①終末期ケアを見据えた病診連携
徳山 磨貴 さん
(県立西宮病院・MSW)
- ②終末期ケアを見据えた地域連携
福田 清美 さん
(関本クリニック・看護師)
- ③在宅緩和ケアの実践と地域連携
白山 宏人 先生
(大阪北ホームケアクリニック)

司会 土山 雅人 先生
(つちやま内科クリニック)

お問い合わせは担当事務局
岡林、伊藤、横山まで
Tel : 078-393-1801 Fax : 078-393-1802

介護保険をよくする西宮市民の会

介護・医療の将来を

テーマに講演会を開催

大森公一支部長が代表を務めるNPO法人「介護保険をよくする西宮市民の会」は12月2日、佐久総合病院の色平哲朗先生を講師に、講演会「予防は治療に勝る」を開催、市民・介護職員ら100人が参加した。

色平先生は講演で、人口1200人弱の南相木村国保診療所での地域住民との全人的な付き合いや医学生受け入れなどの経験をユーモアを交えて語り、医療・介護の将来は市民と医療関係者が一緒に考えていかねばならないと訴えた。



開会あいさつをする大森支部長



ユーモアを交えて講演する色平先生

世話人会だより

西宮・芦屋支部は11月28日(金)に西宮医療会館で世話人会を開催しました。出席は8人。

【報告】

①但馬支部との交流企画(11・9)

【協議事項】

- ①医療過誤・訴訟セミナー(12・6)
- ② Medical English#20(12・12)
- ③第3回胸部X-IP読影会(1・30)
- ④レセプト電子送信の検討会(1・31)
- ⑤健康と医療について語り合う会(1・31)
- ⑥第20回在宅医療研究会(2・7)
- ⑦第21回漢方研究会(3・14)
- ⑧第29回支部総会(7・4)
- ⑨阪神淡路大震災15周年企画